

7月2日

### 緑多いまちづくりに役立ててください 美留和小児童が緑の募金



募金を手渡す阿部奈央子さん(中央)と阿部実央子さん(右)

緑化推進の一環として行われた緑の募金運動で、町内の皆さんからご協力いただいた募金が、弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)に寄付されました。

緑の募金運動は5月6日から6月24日にかけて行われ、自治会や企業、学校、個人の皆さんなどから募金をいただきました。7月2日には、美留和小学校(山内雅恵校長)の児童会長・阿部奈央子さん(6年)と阿部実央子さん(4年)が役場を訪れ、児童の皆さんから協力していただいた募金を吉備津副町長に手渡しました。募金は、町内の緑化推進に役立てられます。

7月2日

### 豊かな川にしたい 釧路川にヤマメを放流



大きくなれと願いを込めて

釧路・リバープロテクション・21の会(上田光夫会長)主催によるヤマメの稚魚の放流が7月2日、旧国立病院跡地近くの釧路川護岸で行われました。魚類資源の回復のために毎年行っているもので、釧路開発建設部釧路河川事務所や町、会員など関係者約50人が参加。弟子屈小学校(伊藤新一校長)の3・6年生の児童104人も招待され、約3,000匹のヤマメが放流されました。会長の上田さんは「将来的にはヤマメ釣りが楽しめる川にしたい」と話していました。

7月7・8日

### 楽しい本をたくさん積んで おはなしキャラバン隊が来町



お気に入りの絵本を手にして笑顔

たくさんの本をキャラバンカーに積んで全国を回っている「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が、7月7日におひさま保育園と川湯小学校、翌8日には摩周丘幼稚園を訪れました。

キャラバンカーの来町は2年ぶり。約550冊の本を積んだキャラバンカーに子どもたちは大喜びで、思い思いの本を手に取っていました。また、キャラバン隊による絵本や紙芝居の読み聞かせも行われ、子どもたちを魅了しました。

7月6日

### 「弟子屈音頭」と「月の摩周」を後世に 保存部が初めての総会を開催



保存部の今後について協議

弟子屈町文化協会の弟子屈音頭・月の摩周保存部(鈴木幸栄部長)の初めての総会が7月6日、福祉センターで行われました。

同部は、以前から有志による団体として存在し、踊りの練習やイベント出演などの活動を行ってきました。昨年、組織の拡大と強化を図ろうと呼びかけ、52人の賛助会員を得ました。これを受けて今回、文化協会の中の部として本格的に活動することになり、初めての総会開催となったものです。総会では、6月に作成した規約の原案の可決や、今後の活動内容などの検討が行われました。

7月16日

### 聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部所属の小学生 剣詩舞のコンクールで上位を独占

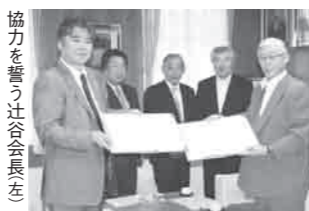


前列左から谷田優花さん、谷田優さん、阿部奈央子さん、後列右から阿部の絵本さん

7月4日に札幌市で行われたコロムビア創立100周年記念第1回コロムビア全国剣詩舞コンクール北海道地区決選大会で、聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部(鈴木幸栄代表)所属の谷田優花さん(弟子屈小学校4年)が優勝、谷田美優さん(同6年)が準優勝、阿部奈央子さん(美留和小6年)が入賞と、大活躍しました。谷田優花さんは、12月5日に東京都で開催される全国大会に出場します。7月16日に教育長に報告に訪れた3人は「大会ではあまり緊張せずに、普段どおりの力を出せたと思う。これからも、もっと頑張りたい」と喜びを語りました。

7月13日

### 口蹄疫発生時の協力体制を整備 町と弟子屈建設業協会が協定を締結



協力を誓う辻谷会長(左)

こういいき 口蹄疫発生時における町と弟子屈建設業協会(辻谷智之会長)の協力に関する協定調印式が7月13日、役場で行われました。

協定は、町内で口蹄疫が発生したり、発生のおそれがあった場合、同協会から建設機材貸与などの協力を得ることにより、感染拡大回避につなげる目的で締結されたものです。調印式には、辻谷会長と佐藤洋司副会長、徳永町長らが出席し、山内正夫摩周湖農業協同組合代表理事組合長立ち会いのもと、辻谷会長と徳永町長が協定書にサインしました。辻谷会長は「口蹄疫が発生しないことを祈っているが、万が一の際には協会の資材や機材を優先的に提供したい」と話していました。

6月25日

### よりすてきな道の駅に 利活用検討委員会を開催



旧欧羅巴民芸館を視察する委員の皆さん

第1回道の駅利活用検討委員会が6月25日、新たな道の駅となる旧欧羅巴(ヨーロッパ)民芸館と役場委員会室で開催されました。委員は、観光関係団体や一般からの公募により選ばれた14人で構成。委員に委嘱状が交付されたほか、委員長に松岡悟さん、副委員長に熊谷和則さんが選任されました。委員会は、来年7月の道の駅オープンを目指し、新しい道の駅の在り方についての協議・議論を重ねていきます。

6月26日

### 車いすの方も川湯の自然を楽しんで 川湯地域運営協会によるつつじヶ原散策



ガイドの説明を聞きながらつつじヶ原を散策

阿寒国立公園川湯地域運営協会(福田英敏会長)の皆さんが6月26日、硫黄山山ろくのつつじヶ原で車いす散策会を行いました。同協会の設立30周年記念事業の一環で、同協会が行う「つつじヶ原朝の散策」の特別企画として行ったものです。町内の高齢者など12人が参加しました。参加者は好天の下、同協会の会員など20人のサポートを受けながら、約1キロの散策路で満開のエゾツツジを満喫しました。

6月26日

### 交通安全や防犯への意識高揚を 警察音楽隊によるふれ愛コンサートを開催



音楽隊の演奏に聴き入る来場者

弟子屈町交通安全運動推進協議会主催の弟子屈町安全・安心まちづくりふれ愛コンサートが6月26日、弟子屈小学校体育館で開催されました。音楽を通して、交通安全や防犯に対する意識の高揚を図っていただくことを目的に開催されたものです。親子連れなど約250人が会場に詰めかけ、警察音楽隊やカラーガード隊の演奏・ドリルに見入りました。また、バトカーや白バイの試乗会、キックボールや輪投げなどのゲームなども行われ、子どもたちの人気を集めていました。

7月1・2日

### 小さい子どもたちかわいいね 川湯中学生が保育体験



ちゃんと手をつないで歩こうね

川湯中学校(室山俊美校長)の3年生8人が7月1日から2日にかけて、おひさま保育園(清水節子園長)で保育体験を行いました。総合的な学習の一環として、毎年行っています。生徒は各クラスに分かれて入り、一緒に戸外遊びや散歩を行ったり、給食やお昼寝のお手伝いをしたりして、園児と触れ合いました。体験の終わりには「大変だけど、子どもはかわいい。今日でお別れなのがさびしい」などの声が聞かれました。

6月29日

### プロの語りに聴き入る おひさま保育園で語りべと紙芝居の公演



民話の語りで園児を魅了した木名瀬さん

おひさま保育園(清水節子園長)で6月29日、語りべの木名瀬五百子さんによる昔話と、声優のフジワラシカズさんによる紙芝居の公演が行われました。神奈川県在住で「大地の劇場・東京民話街」の語りべとして活躍する木名瀬さんは、動物が登場する2つの民話を手振り、身振りを交えて趣たっぷりに披露。フジワラさんは、昔懐かしい紙芝居屋さんの雰囲気、拍子木や太鼓を使って紙芝居を読み上げ、園児が熱心に聴き入っていました。